

平成28年度

当初予算のポイント

厚木市財務部財政課

平成28年2月12日

目次

1	あつぎの元気先見予算	1
2	予算規模等について	1
3	予算編成における財源確保について	2
4	一般会計の歳入歳出について	3
5	当初予算主要事業	6

1 「あつぎの元気先見予算」

平成28年度は、「あつぎ元気プラン」第2期基本計画の2年目を迎え、基本構想の実現を確実なものとする重要な期間に入っており、将来都市像「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市 あつぎ」の実現に向け、五つの基本政策に位置付ける施策を着実に推進します。

平成28年度当初予算については、本市の将来の発展に欠かすことのできない「都市基盤整備」や将来の人口展望を実現するための「地方創生」、さらには、誰もが安心して生きがいを持って生活することができる「地域包括ケア社会の実現」を重点項目とし、将来の元気なあつぎへの確かな投資となり、全ての市民の皆様が夢と希望を持ち続けることができるよう『あつぎの元気先見予算』として編成しました。

これらの財源については、健全財政の堅持に最大限配慮しつつ、本市の基幹収入である市税について、法人市民税の一部国税化などの影響により減収が見込まれましたが、景気が回復基調にあることや固定資産税の増収、収納対策に一層取り組むことなどにより、市税全体では平成27年度と比べ、約3.5億円の増収としました。このほか、国庫補助金などの確保や将来負担を十分に考慮しながら投資的事業に対し効果的に市債を活用するなど、さらなる特定財源の確保に努めるとともに、徹底した行財政改革を推進する観点から、全ての事務事業をゼロベースから見直すなど経常経費等の削減を行い、限られた財源をより効果的に活用してまいります。

2 予算規模等について

予算規模は、一般会計が805億8,000万円で、特別会計及び企業会計を合わせた予算総額は、1,503億2,204万6千円（対前年度比6.9%増）になります。

一般会計	805億8,000万円	(対前年度比 3.6%増)
特別会計合計	505億8,132万円	(対前年度比 1.1%増)
公営企業会計	191億6,072万6千円	(対前年度比 49.3%増)
予算総額	1,503億2,204万6千円	(対前年度比 6.9%増)

(1) 一般会計予算は、4年連続のプラス予算（3.6%増）で、初めて800億円を超える過去最大予算となりました。

※国の補正予算による交付金等を活用して、平成27年度補正予算(第6号)で措置（繰越明許）した広域連携観光推進事業費など7億829万4千円を含めると、812億8,829万4千円となります。

- (2) 全会計の予算総額は、新市立病院の建設が最終年度を迎えることなどから、過去最大予算（6.9%増）となりました。
- (3) 一般会計予算における投資的経費（普通建設事業費）は、将来を見据えた都市基盤整備への先行投資などの経費として、92億5,336万3千円を計上し、前年度比較で16億4,559万8千円（21.6%）の大幅な増となりました。
- (4) 社会保障関係経費の増加により、民生費は317億8,257万5千円となり、前年度比較で8億6,837万9千円（2.8%）の増になるなど、一般会計予算に占める割合が、39.4%と非常に高い割合を占めています。

3 予算編成における財源確保について

平成28年度当初予算の財源については、健全財政の堅持に最大限配慮しつつ、市税等の自主財源の確保、国庫支出金等の確保、事務事業の見直しなどにより財源を確保しました。

- (1) 税・料等の収納対策の強化
税・料等については、コールセンターの機能強化を図るなど、収納対策のより一層の強化を図ります。
- (2) 地方消費税交付金
地方消費税交付金は、平成27年度の収納実績が好調に推移していることから、4億円の増収を見込みました。
- (3) 国庫支出金等
事業内容を精査し、国庫補助金等を事業の財源に漏れなく充当できるように、増収を見込みました。
- (4) 市債
将来負担を十分に考慮しながら投資的事業に対し効果的に市債を活用することにより、前年度比較で10億7,470万円の増額を見込みました。
- (5) 基金の活用
財政調整基金繰入金は、平成26年度の繰越金と平成27年度の不用額を平成27年度中に基金に積み立て、平成28年度の財源として5億円を活用します。

(6) 事務事業の見直し

ア 職員給与費の独自引下げの継続等

平成24年度から独自に実施している地域手当及び管理職手当の引下げを継続し、2億2,087万円削減しました。

イ 施設等の維持管理費等の見直し

維持管理経費及び維持補修経費を1億418万6千円削減しました。

ウ 委託料等の見直し

徹底的に経費の見直しを行い、委託料等を1億1,263万3千円削減しました。

4 一般会計の歳入歳出について

(詳細は『予算の概要』のP17以降を参照)

歳入

(1) 市税収入

市税合計額は、433億362万7千円となり、前年度比較で3億5,144万5千円の増と見込みました。

ア 個人市民税 (144億3,106万4千円) については、個人所得の増が見込まれるものの、滞納繰越額が減少したため、前年度比較で2,993万6千円、0.2%の減と見込みました。

イ 法人市民税 (43億8,067万5千円) については、法人市民税の一部国税化などの影響があるものの、企業業績の回復が見込まれることにより、前年度比較で8,174万8千円、1.9%の増と見込みました。

ウ 固定資産税 (197億7,878万3千円) については、家屋の新增築分の増収などが見込まれることから、前年度比較で2億3,379万円、1.2%の増と見込みました。

(2) 税外収入

ア 国庫支出金 (121億5,300万7千円) については、社会資本整備総合交付金(道路事業)の増収(6億6,559万7千円増)などにより、前年度比較で12億2,027万2千円、11.2%の増と見込みました。

イ 繰入金 (6億6,716万8千円) については、財政調整基金の繰入れを抑制したことなどから、前年度比較で2億4,625万6千円、27%の減と見込みました。

財政調整基金	平成28年度末現在高見込	58億8,071万4千円
--------	--------------	--------------

ウ 市債（64億9,610万円）については、前年度比較で10億7,470万円、19.8%の増と見込みました。

市債現在高	平成28年度末見込	496億429万6千円
-------	-----------	-------------

歳出

(1) 目的別

ア 民生費（317億8,257万5千円）については、入所児童保育委託費、障害者日中活動支援事業費、定率市町村負担金、子ども・子育て支援新制度給付金などの増により、前年度比較で8億6,837万9千円、2.8%の増となりました。

イ 土木費（114億7,754万4千円）については、本厚木駅南口地区市街地再開発事業費、街路用地取得事業費、赤坂竹ノ内線道路整備事業費（継続費）、スマートインターチェンジ整備用地取得事業費、厚木環状3号線街路整備事業費などの増により、前年度比較で18億3,500万6千円、19%の増となりました。

ウ 教育費（83億3,399万4千円）については、厚木南公民館新築事業費（継続費）、小学校校舎・体育館改修事業費、中学校校舎・体育館改修事業費、中学校校庭整備事業費などの増により、前年度比較で7億5,504万円、10%の増となりました。

エ 総務費（76億452万円）については、本厚木駅耐震補強事業補助金、社会保障・税番号制度推進事業費、委託統計調査費などの減により、前年度比較で2億8,722万5千円、3.6%の減となりました。

オ 衛生費（75億9,084万7千円）については、病院事業会計負担金（資本的収支）、厚木愛甲環境施設組合負担金、金田地区施設等整備補助金、再生可能エネルギー導入促進事業費などの増により、前年度比較で3億3,499万8千円、4.6%の増となりました。

(2) 性質別

ア 扶助費（182億3,547万8千円）については、入所児童保育委託費、障害者日中活動支援事業費、障害者居宅生活支援事業費などの増

により、前年度比較で8億1,386万5千円、4.7%の増となりました。

イ 人件費（157億4,871万8千円）については、共済費や放課後児童クラブ運営事業及び療育支援事業に係る人件費などの増により、前年度比較で5億7,560万6千円、3.8%の増となりました。

ウ 物件費（136億6,375万5千円）については、社会保障・税番号制度推進事業費、土地区画整理推進事業費、定期予防接種事業費などの減により、前年度比較で5,379万7千円、0.4%の減となりました。

エ 普通建設事業費（92億5,336万3千円）については、本厚木駅南口地区市街地再開発事業費、街路用地取得事業費、赤坂竹ノ内線道路整備事業費（継続費）、スマートインターチェンジ整備用地取得事業費、厚木環状3号線街路整備事業費などの増により、前年度比較で16億4,559万8千円、21.6%の増となりました。

オ 補助費等（75億520万1千円）については、病院事業会計負担金（資本的収支）、定率市町村負担金、子ども・子育て支援制度地域型保育給付費、子ども・子育て支援新制度給付金、年金生活者等支援（障害・遺族基礎年金受給者）臨時福祉給付金、厚木愛甲環境施設組合負担金などの増により、前年度比較で3億8,617万円、5.4%の増となりました。

5 当初予算主要事業

(一般会計、後期高齢者医療事業、国民健康保険事業、介護保険事業及び病院事業会計の総額)

健康長寿・医療・福祉

予算額 761億4,947万6千円

- 1 市立病院建設事業（病院事業会計）** 11
 外来診療と入院病棟の機能を担うB棟の工事がH28年秋に完成し、駐車場整備等の外構工事もH29年3月に完成（予定）。**H29年春全面オープン**
- 2 未病施策事業** 12
 超高齢社会を迎え、保健センター内に設置の健康度見える化コーナーにおいて、継続的な健康度チェックと専門職による健康相談を実施。
- 3 がん検診事業** 13
 がんの予防や早期発見のため、複数のがん検診を一度に行えるセット検診の定員数を大幅に拡大するとともに、口腔がんの施設検診を新たに導入。
- 4 厚木市医療福祉検討会議運営事業** 14
 市民一人一人の人権が尊重され生きがいを感じて安心して可能な限り住み慣れた地域で生活できる地域包括ケア社会の実現に向けた取組を推進。
- 5 （仮称）保健福祉センター整備事業（継続費）** 15
 総合福祉センターと保健センターの機能を統合し、保健・医療・福祉の拠点施設として、（仮称）保健福祉センターを整備。**H29年春オープン**

地方
創生

地域
包括

安心安全・防災減災

予算額 24億4,038万9千円

- 1 自転車シミュレーター導入事業** **NEW** 16
 自転車事故の抑制と利用者のマナー向上を図るため、危険予知・予測能力を高める「自転車シミュレーター」を導入し、交通安全教育を推進。
- 2 防犯灯LED化事業（債務負担行為）** **NEW** 17
 市が管理する防犯灯を一斉にLEDに交換。環境負荷の軽減や自治会に依頼していた蛍光灯交換、電気料等の維持管理コストなどが大幅に軽減。
- 3 準用河川安全対策事業** **NEW** 18
 市民が平時に水害リスクを認識し、災害時に的確な避難ができるよう、準用河川恩曾川の洪水に対する浸水想定区域図を作成。
- 4 新型防災ラジオ整備事業** 19
 災害時における情報発信の充実・強化と防災行政無線の難聴地域の解消を図るため、新型防災ラジオの有償配布をスタートし、購入費用の一部を助成。
- 5 厚木排水区等浸水対策事業（公共下水道事業特別会計）** 20
 集中豪雨に対する本厚木駅周辺の浸水被害を軽減するため、あさひ公園の地下に雨水貯留施設を整備。H28年度から工事着手。**H31年度完成予定**

子育て・教育

予算額 140億4,534万7千円

地方
創生

- 1 母子支援事業 **NEW** 21
全ての妊産婦等の状況を継続的に把握し、妊娠から出産、子育て期にわたる切れ目のない相談体制の充実を図るため、母子保健コーディネーターを配置。
- 2 認定こども園一般型一時預かり事業補助金 **NEW** 22
保育所待機児童の解消を推進するため、園児以外の幼児の一時預かりを実施する認定こども園に対し、利用児童数に応じた補助金を交付。
- 3 スクールアシスタント派遣事業 **NEW** 23
教職員が子どもたち一人一人と向き合う時間を確保するため、小・中学校に学校業務を支援するスクールアシスタントを派遣し、教職員の負担を軽減。
- 4 放課後児童クラブ運営事業 24
保護者の方が安心して児童を預けることができるよう、放課後児童クラブの開所時間延長や対象学年拡大、クラブ増設による定員数拡大などを実施。
- 5 公園施設安心安全対策事業 25
年間約14万人の方が利用されている厚木中央公園の大型複合遊具を子どもから高齢者まで一緒に楽しく遊べる遊具にリニューアル。
- 6 小学校教室冷暖房設備設置事業 26
H26年度から3か年計画で進めてきた小学校教室冷暖房設備設置事業の最終年度として、9校に冷暖房設備を設置。 **小・中学校の普通教室は100%完備**

中心市街地・交通対策

予算額 52億1,961万8千円

都市
基盤

- 1 本厚木駅南口地区市街地再開発事業 27
駅前広場の拡充整備や地上22階建てとなる再開発ビルの整備を促進。H28年度は既存建物の除却などに着手。 **H30年度完成予定**
- 2 中町第2-2地区周辺整備関連事業
 - (1) 中町第2-2地区周辺整備事業 28
新たな集客の核となる複合施設の整備に向け、基本方針の実現を目指し、H29年度に複合施設の基本計画を策定。
 - (2) (仮称) こども未来館整備事業 **NEW** 29
未来ある子どもたちが科学を学び、考え、体験できる施設整備に向け、基本構想を策定。
 - (3) 図書館整備事業 **NEW** 30
新たな図書館の整備に向け、より多くの市民の皆様に愛され、利用される図書館となるよう、未来を見据えた図書館基本構想を策定。

都市
基盤

- (4) 保健センター解体事業（継続費） **NEW** 31
 中町第2-2地区周辺整備に向け、（仮称）保健福祉センターへ移転後の保健センターの解体を実施。（H28は解体設計、H29は解体工事）
- (5) 中町第2-2地区周辺整備用地取得事業 **NEW** 32
 （公共用地取得事業特別会計）
 中町第2-2地区周辺整備区域内の市道の付け替え整備に必要な代替用地の取得と支障物件の移転補償を実施。
- 都市基盤** 3 スマートインターチェンジ整備・用地取得事業 **NEW** 33
 （仮称）厚木パーキングエリアスマートインターチェンジの開通に向け、測量や設計、事業用地の取得を実施。 H30年度完成予定
- 都市基盤** 4 街路整備関連事業
 - (1) 街路用地取得事業 34
 都市計画道路である本厚木下津古久線と厚木環状3号線の早期整備を目指し、道路用地の取得及び支障物件の移転補償を実施。
 - (2) 厚木環状3号線街路整備事業 35
 都市計画道路としての交通ネットワーク構築のため、県道63号宮地交差点から1,700mにわたり設計と一部造成工事を実施。 H32年度完成予定
 - (3) 本厚木下津古久線街路整備事業 36
 新東名高速道路（仮称）厚木南ICへのアクセス機能や地域経済の活性化のため、設計を実施。 H32年度完成予定
- 都市基盤** 5 赤坂竹ノ内線道路整備事業（継続費） 37
 県道603号上粕屋厚木と市道赤坂津古久環状線を連絡する路線として、橋りょう工事や道路築造工事を実施。 H29年完成予定

経済活性化・企業誘致・雇用創出

予算額 34億1,128万4千円

- 都市基盤** 1 森の里東土地地区画整理推進事業 38
 森の里東土地地区画整理組合に対する支援を実施。H27年1月に着手したA地区の工事進捗は約40%に達し、 H29年度の完成と企業操業予定
- 2 ロボット産業関連事業 **NEW** 39
 新たなロボット産業の振興と集積、ロボットの普及などを促進するため、ロボットの実用化を通じた地域経済の活性化に係る計画を策定。
- 都市基盤** 3 土地地区画整理推進事業 40
 山際地区及び南部産業拠点（酒井地区）を対象に、土地地区画整理の事業化を目指し、権利者組織に対し必要な支援を実施。 H30年度組合設立予定

地方
創生

4 将来を見据えた様々なプラン策定

- (1) 産業マスタープラン改定事業 **NEW** 41
厚木市産業マスタープランについて、将来を見据え、商業や観光の方向性などとの整合性を図り、産業振興施策の柱となる計画として改定。
- (2) (仮称) 商業まちづくり計画策定事業 **NEW** 42
中心市街地及び周辺部の商業活性化を図るため、中長期的な商業ビジョンや商業振興プランを策定し、将来を見据えた商業施策を推進。
- (3) 観光振興計画改定事業 **NEW** 43
外国人観光客誘致や滞在型観光の推進など、多様化する観光ニーズに迅速に対応するため、より実効性の高いアクションプランとして改定。

地方
創生

- 5 若者・女性等雇用拡大事業 44
正規雇用を希望する若者や結婚・出産後にキャリアブランクのある女性等を対象に人材育成や企業とのマッチングの場を提供し、就職活動を支援。

自然環境・再生可能エネルギー

予算額 16億5,420万1千円

- 1 農作物鳥獣害防護対策事業補助金 **NEW** 45
野生鳥獣などによる農作物被害を軽減するため、市内で農作物を生産している個人や団体に対し、防護電気柵や防護柵、防護網の設置を支援。
- 2 有害鳥獣防除団体育成交付金 **NEW** 46
市内の有害鳥獣防除団体（2団体）に対し、組織存続と若い世代の新規加入を促進し、組織育成の強化を図るため、運営費交付金を交付。
- 3 再生可能エネルギー導入促進事業 47
再生可能エネルギーの導入を促進するため、災害時に防災拠点となる公共施設（鳶尾小・玉川小）に太陽光発電及び蓄電池システムを設置。
- 4 事業系ごみ内容物適正化推進事業 48
循環型社会を形成するため、環境センターに搬入される事業系一般廃棄物の内容物適正検査を実施し、事業系ごみの減量化・資源化を推進。

スポーツ・文化

予算額 9億1,720万4千円

- 1 市民体力向上推進事業 **NEW** 49
日本体育大学等との連携により、幼児から高齢者まで幅広い世代の体力向上や健康増進を図るとともに、講師派遣、スポーツ交流などを推進。
- 2 あつぎスポーツアカデミー推進事業補助金 50
ジュニア育成部門のさらなる充実に向けて、未来のトップアスリートの発掘や育成、スポーツ教室の開催、指導者の養成などを支援。

- 3 オリンピック・パラリンピック支援推進事業 51
東京オリンピック・パラリンピック及びラグビーワールドカップ 2019 日本大会の事前キャンプ誘致活動や両大会の成功に向けた支援を実施。
- 4 公民館図書室オンライン・ネットワーク整備事業 **NEW** 52
中央図書館と一体化したサービスを受けることができるよう南毛利公民館図書室をリニューアル。(市内9か所目) H29年1月オープン
- 5 厚木南公民館新築整備関連事業..... 53
中心市街地の公共施設再配置計画に基づき、厚木南公民館の新築移転に向け、新築工事と現厚木南公民館の解体設計を実施。 H29年春オープン

その他の地方創生に向けた取組（2月補正繰越明許分含む）

- 地方創生** 1 あつぎの魅力創造発信事業 **NEW** 54
20歳代を中心とした若い世代の定住促進と転出抑制を図るため、住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力ある事業を検討・実施。
- 地方創生** 2 出会いの場・交流の場創出事業 **NEW** **2月補正** 55
合計特殊出生率の上昇を目指し、結婚を望む方々の希望をかなえるため、新たな出会いの場や交流の場を創出するための事業を検討・実施。
- 地方創生** 3 まちの魅力を高める都市農業推進事業
 - (1) 地産地消対策事業補助金 **NEW** **2月補正** 56
耕作放棄地を再生利用する新たな担い手の農業定着へ向け、小麦生産における収益拡大と新たな加工食品の流通促進を図るため、製粉機を導入。
 - (2) 青年就農支援事業（その2） **2月補正** 57
持続的な都市農業の発展と農業従事者の高齢化や後継者不足の課題解消に向け、青年の新規就農者に対して支度金を給付。
- 地方創生** 4 “つながる大山（おおやま）”プロジェクト【厚木市、伊勢原市、秦野市広域連携事業】
 - (1) 観光協会補助金（その2） **NEW** **2月補正** 58
インバウンド戦略を促進するため、飯山・七沢の旅館へのWi-Fi環境の整備や外国人向けホームページコンテンツの作成業務等を支援。
 - (2) 広域連携観光推進事業 **NEW** **2月補正** 59
大山周辺エリアの魅力を高めるため、自治体間で連携した広域的な観光プロモーション動画やポスターなどを作成。


平成 28 年度当初予算主要事業

(健康長寿・医療・福祉)

事業名	市立病院建設事業（病院事業会計）	
区 分	拡 充	
事業の目的	公立病院の使命である救急、小児・周産期、がん、災害医療などを担う地域医療の中心的役割を果たし続ける病院を整備し、良質な医療サービスを永続的に提供する医療環境を整備します。	
事業概要	<p>厚木市立病院建設工事の第Ⅱ期工事につきましては、平成28年秋完成に向けて1階から2階に外来診療を3階から6階には入院病棟の機能を担うB棟の工事を進めております。</p> <p>第Ⅲ期工事の駐車場整備等の外構整備工事につきましては、平成29年3月に完成を予定しております。</p> <p>●規模、構造 A棟・B棟：地下1階・地上6階建て 救急手術棟：地下1階・地上4階建て 鉄筋コンクリート構造(免震構造)</p> <p>●病床数 347床(ICU, CCU・HCUを含む。) (第Ⅰ期工事 A棟：175床・救急手術棟：10床 第Ⅱ期工事 B棟：162床)</p> <p>●工 期 平成24年10月～平成29年3月</p> <p>●予算額(病院事業会計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 病院建設事業費 6,476,101千円 ・病院建設事業(継続費)(H24～H28) 14,626,670千円 (うちH28分 4,858,300千円) <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 平成29年春 全面オープン </div> 	
平成28年度 当初予算額	6, 4 7 6, 1 0 1千円	
担当課	部・課・係名	事務部門 病院建設課 病院建設担当
	担当課長	病院建設課長 落合 光彦
	電 話	046-225-2977

平成28年度当初予算主要事業

(健康長寿・医療・福祉)

事業名	未病施策事業	
区分	拡充	
事業の目的	超高齢社会を迎える中、二次保健医療圏域内の5市1町1村（厚木市、海老名市、座間市、綾瀬市、大和市、愛川町、清川村）で、健康寿命の延伸に向けて、広域的な健康づくりに取り組みます。	
事業概要	<p>厚木市保健センター内に設置の健康度見える化コーナー（未病センター）において、利用者自身による各種健康機器を使った継続的な健康度チェックを可能にするとともに、専門職による健康に関する相談又は助言を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健康度見える化コーナー（未病センター）の運営 2 利用者自身による健康状態の把握 3 有資格者による健康に関する相談又は助言 4 利用者に適した健康づくりに関する情報提供 <p>※健康度見える化コーナー（未病センター）平成28年3月開設</p>  <p style="text-align: right;">※イメージ写真</p>	
平成28年度 当初予算額	2,500千円	
担当課	部・課・係名	市民健康部 健康づくり課 成人保健係
	担当課長	健康づくり課長 大貫 美香
	電話	046-225-2205

平成 28 年度当初予算主要事業

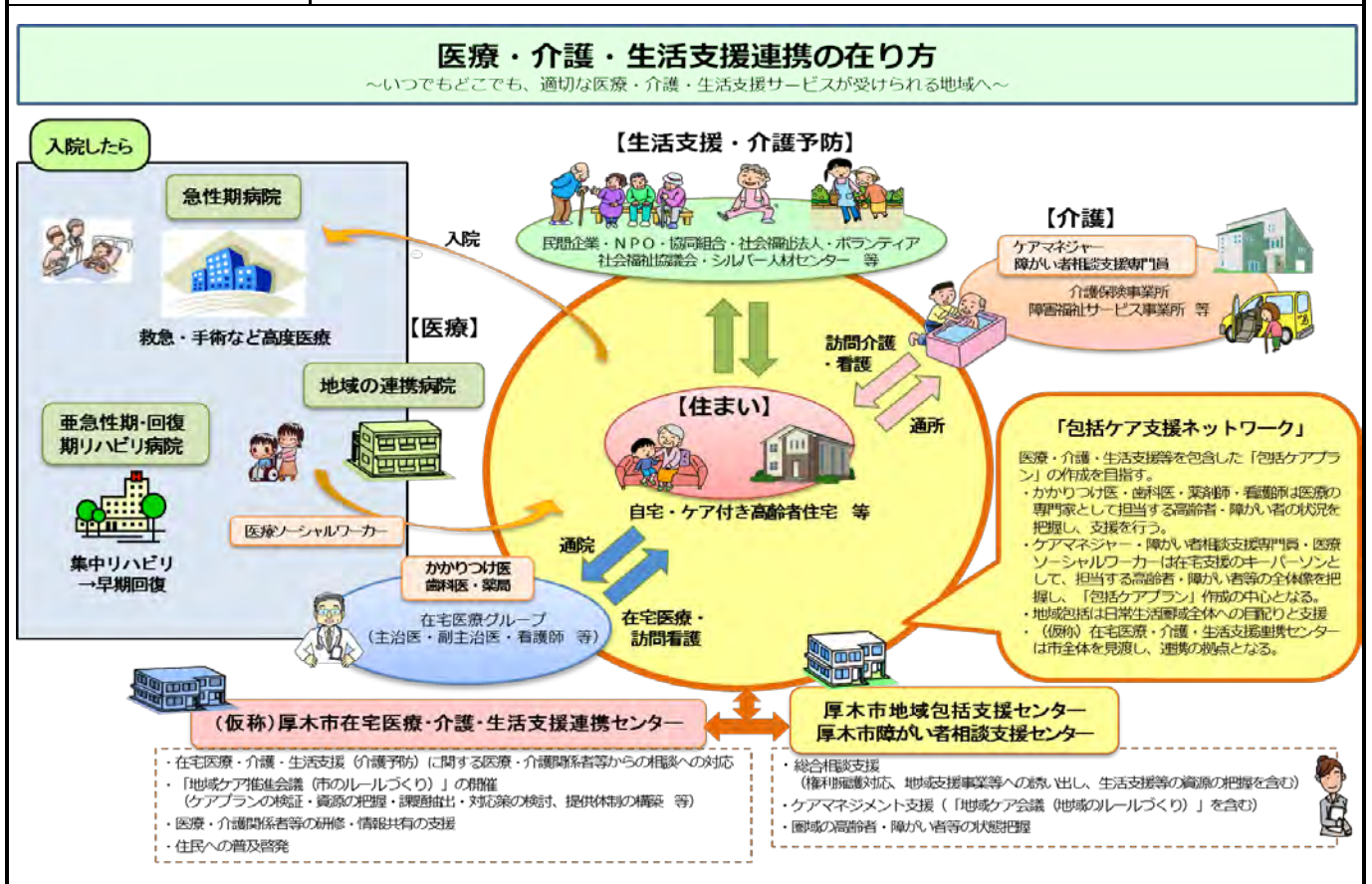
(健康長寿・医療・福祉)

事業名	がん検診事業	
区 分	拡 充	
事業の目的	がんの予防や早期発見のため、各種がん検診を実施し、がんによる死亡者数を減少させ、市民の健康増進を図ります。	
事業概要	<p>受診者数の増加及び利便性の更なる向上を図るため、要望が多かった複数のがん検診を一度に行えるセット検診について、定員数を大幅に増加します。</p> <p>また、口腔がんについては、集団検診に加えて身近な医療機関でも検診が受けられるよう施設検診を導入し、口腔がんの早期発見に努めます。</p> <p>《集団検診》 胃がん（X線検査） 乳がん（マンモグラフィ・視触診） 子宮がん 口腔がん セット検診（乳がん・子宮がん等） ※拡充</p> <p>《施設検診》 胃がん（X線検査、内視鏡検査、リスク検診） 肺がん 大腸がん 前立腺がん 乳がん（視触診） 子宮がん 口腔がん ※新規 セット検診（胃がん・前立腺がん等）</p>	
平成 28 年度 当初予算額	402,907千円	
担当課	部・課・係名	市民健康部 健康づくり課 成人保健係
	担 当 課 長	健康づくり課長 大貫 美香
	電 話	046-225-2205

平成28年度当初予算主要事業

(健康長寿・医療・福祉)

事業名	厚木市医療福祉検討会議運営事業費
区分	拡充
事業の目的	市民一人一人の人権が尊重され、生きがいを感じて、安心して可能な限り住み慣れた地域で生活できる「地域包括ケア社会」の実現に向けた検討を行います。
事業概要	平成28年度につきましては、地域包括ケア社会の中核部分である、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援のサービスや支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向け、在宅医療と介護の更なる連携を図るため、新たに①多職種連携・情報共有システム連絡会、②病診連携連絡会、③研修・啓発・広報連絡会を設置するとともに、地域包括ケア社会の実現に向けた市民向け講演会を開催します。



平成28年度 当初予算額	3, 277千円	
担当課	部・課・係名	福祉部 健康長寿課 高齢者支援係
	担当課長	健康長寿課長 三武 孝尚
	電話	046-225-2249

平成 28 年度当初予算主要事業

(健康長寿・医療・福祉)

事業名	(仮称) 保健福祉センター整備事業 (継続費)	
区 分	継 続	
事業の目的	<p>中心市街地の公共施設再配置計画等に基づき、総合福祉センターを(仮称)保健福祉センターとして再整備し、施設機能の充実と長寿命化を図ります。</p>	
事業概要	<p>平成 25 年 4 月に策定された「中心市街地の公共施設再配置計画」に基づき、総合福祉センターの施設を再整備し、保健・医療・福祉の拠点施設として、更なる連携の強化を図るため、保健センターを統合するとともに、(仮称)療育相談センター及び(仮称)児童発達支援センターを設置し、(仮称)保健福祉センターとして施設機能の充実を図ります。</p> <p>また、当該施設は、建設後 25 年が経過し、設備機器等の経年劣化が著しく進んでいるため、今後も市民の皆様が快適に施設を利用していただけよう、施設の再整備と併せて設備機器等の更新を行います。</p> <p>【実施年度】平成 27・28 年度の 2 か年継続事業</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px; text-align: right;"> <p>平成29年春 オープン!</p> </div> </div>	
平成 28 年度 当初予算額	320,294 千円	
担当課	部・課・係名	福祉部 福祉総務課 施設管理係
	担当課長	福祉総務課長 笹生 民雄
	電 話	046-225-2206

平成 2 8 年度当初予算主要事業

(安心安全・防災減災)

事業名	自転車シミュレーター導入事業	
区 分	新 規	
事業の目的	<p>危険予知・予測能力を高める「自転車シミュレーター」を活用し、自転車の交通ルールとマナーをわかりやすく伝え、交通安全教育の推進を図ることを目的とします。</p>	
事業概要	<p>市内の交通事故件数は減少傾向にあるものの、事故件数全体に占める自転車事故の割合は依然として高い傾向にあります。</p> <p>また、自転車の交通違反、歩行者等への迷惑運転や危険運転など、自転車利用者の交通マナーの低下も問題となっています。</p> <p>このような中で、関係機関及び各交通安全関係団体と連携し、自転車シミュレーターを活用した交通安全教室を行うことで、自転車事故の抑制と自転車利用者のマナーの向上を図ります。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	
平成 2 8 年度 当初予算額	7 5 6 千円	
担当課	部・課・係名	危機管理部　くらし交通安全課　交通安全係
	担 当 課 長	くらし交通安全課長　井上　聡
	電　　話	0 4 6 - 2 2 5 - 2 1 7 5

平成 28 年度当初予算主要事業

(安心安全・防災減災)

事業名	防犯灯 LED 化事業	
区 分	新 規	
事業の目的	<p>市が防犯灯として管理している照明を、蛍光灯から省エネ効果の高い LED 灯へ一斉交換するとともに、維持管理体制を整備することによって、電気料金や蛍光管の交換などの維持管理費の削減及び CO2 削減による環境負荷の軽減、不点灯の減少による市民サービスの向上を図ることを目的としております。</p>	
事業概要	<p>防犯灯の全灯調査を実施し、一斉に LED 灯に交換工事を行うとともに、電子管理台帳の整備や 10 年間の防犯灯の維持管理業務を委託にて実施します。</p> <p>(1) 防犯灯の全灯調査の実施 (2) 蛍光灯等の防犯灯から LED 灯の防犯灯への交換工事 (3) 防犯灯の電子管理台帳の整備 (4) 交換工事を行った防犯灯の 10 年間の維持管理業務 (財政負担の軽減)</p> <p>蛍光灯から LED 灯へ交換することにより、電気料金が約半額となり、蛍光管の交換代等の固定費用が削減されるほか、故障の減少が見込まれ、経費削減が図られます。</p> <p>(環境負荷の軽減) CO2 の排出量も約 7 割削減され、環境負荷が軽減されます。</p> <p>(自治会負担の軽減) 自治会に依頼しておりました蛍光管の交換がなくなります。</p> <p>(市民サービスの向上) 不点灯件数が減少し、安心・安全なくらしの向上が図られ、市民サービスの向上につながります。</p> <p>(防犯灯管理の効率性の向上) 管理台帳を整備することにより、故障や設置の相談に迅速な対応ができるほか、将来の灯具改修も計画的に実施することができます。</p>	
平成 28 年度 当初予算額	0 千円 (債務負担行為 平成 29 年度～平成 38 年度 556,400 千円)	
担当課	部・課・係名	危機管理部 ぐらし交通安全課 生活安全係
	担 当 課 長	ぐらし交通安全課長 井上 聡
	電 話	046-225-2148

平成 28 年度当初予算主要事業

(安心安全・防災減災)

事業名	準用河川安全対策事業	
区 分	新 規	
事業の目的	<p>市民が平時に水害リスクを認識し、出水時に提供される情報を適切に聞き、または入手し、災害時に的確な避難がとれるよう災害対応力の充実を図ります。</p>	
事業概要	<p>水防法により国県は指定された河川の浸水想定区域図を作成し、浸水想定区域内の市町村は地域防災計画に避難の方法等を定め、その内容をハザードマップにより周知することを義務付けられています。</p> <p>近年、計画降雨を上回る降雨が発生しており被害が頻発することが想定されることから、平成 27 年に水防法が改正され洪水浸水想定区域の指定の前提となる降雨を「計画降雨」から「想定し得る最大規模の降雨」としたことにより県では一級河川相模川、中津川の浸水想定区域の見直し作業を進めています。</p> <p>一級河川相模川、中津川の新たな浸水想定区域図の作成に合わせ、準用河川恩曾川について洪水に対する浸水想定区域図を作成します。</p> <p>【平成 28 年度の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 準用河川浸水想定区域作成委託 準用河川恩曾川 L = 7. 2 km <p>委託内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浸水範囲の分析 ・ 浸水解析 ・ 洪水浸水想定区域、浸水深の設定 ・ 洪水浸水想定区域図作成 	
平成 28 年度 当初予算額	11,000 千円	
担当課	部・課・係名	河川みどり部 河川ふれあい課 河川整備係
	担 当 課 長	河川ふれあい課長 桐生 憲一
	電 話	046-225-2382

平成 2 8 年度当初予算主要事業

(安心安全・防災減災)

事業名	新型防災ラジオ整備事業	
区 分	拡 充	
事業の目的	<p>災害時等における情報発信の充実・強化及び防災行政無線の難聴地域の解消を図る。</p>	
事業概要	<p>市民への情報伝達手段については、防災行政無線を基幹としているが、よりの確に情報伝達を図るため、市内全域をカバーしているポケットベル周波数帯を利用した新型防災ラジオを、購入を希望する一般市民の方へ、費用の一部を負担いただき配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有償配布台数 500台 ・購入者負担額 4,000円/台 <p>(税込本体価格 12,420円の約1/3負担) ※通信料は、購入者負担</p> <div style="text-align: center;">  </div>	
平成 2 8 年度 当初予算額	11,929千円	
担当課	部・課・係名	危機管理部 危機管理課 危機管理係
	担 当 課 長	危機管理課長 梅津 昌信
	電 話	046-225-2196


平成28年度当初予算主要事業

(安心安全・防災減災)

事業名	厚木排水区等浸水対策事業 (公共下水道事業特別会計)	
区 分	拡 充	
事業の目的	近年、頻発している下水道施設の整備水準を超える局地的集中豪雨等に対し、本厚木駅周辺の中心市街地において、既存施設を最大限活用した効果的な浸水被害軽減対策により、安心・安全なまちづくりを目指します。	
事業概要	<p>本厚木駅周辺の厚木排水区における浸水被害を軽減するため、国の補助制度である下水道浸水被害軽減総合事業の採択を受け、社会資本整備総合交付金を活用し、既往最大降雨である1時間に65ミリメートルの降雨に対応すべく、厚木南地区のあさひ公園地下を利用し、雨水貯留施設の工事に着手します。また、厚木北地区においては、雨水貯留管の設置に向け、測量調査や土質調査を実施し、早期完成を目指します。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 平成31年度 完成(予定) </div> <p style="text-align: center;">厚木排水区等浸水対策事業実施区域図</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">厚木排水区土質調査委託 H28年度事業費 6,000千円</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">厚木排水区測量調査委託 H28年度事業費 5,000千円 (寿町1丁目)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">厚木排水区雨水貯留施設設置工事 H28年度事業費 300,000千円 (継続事業 H28年度～H31年度 2,100,000千円) (旭町1丁目)</p> </div> </div>	
平成28年度 当初予算額	314,000千円	
担当課	部・課・係名	河川みどり部 下水道施設課 下水道計画工事係
	担 当 課 長	参事兼下水道施設課長 関 充義
	電 話	046-225-2370

平成 28 年度当初予算主要事業

(子育て・教育)

事業名	母子支援事業	
区 分	新 規	
事業の目的	<p>一人一人の子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現に寄与するため、妊娠している方や乳幼児及びその保護者の方が、保健その他の子育て支援を円滑に利用できるよう必要な支援を行います。</p>	
事業概要	<p>子ども・子育て支援法第 59 条第 1 号に基づき、厚木市保健センターにおいて、全ての妊産婦等の状況を継続的に把握し、ニーズに対応した妊娠から出産、子育て期にわたる切れ目のない相談体制の充実を図るため、母子保健コーディネーターを配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 母子健康手帳交付時に、全ての妊婦と面接を実施 2 妊娠期から子育て期にわたる相談支援と情報提供 3 必要な支援のコーディネート 4 支援プランに基づいた助言・指導、関係機関との連絡調整 <div style="text-align: center;">  <p style="text-align: right;">※イメージ写真</p> </div>	
平成 28 年度 当初予算額	5,768 千円	
担当課	部・課・係名	市民健康部 健康づくり課 母子保健係
	担 当 課 長	健康づくり課長 大貫 美香
	電 話	046-225-2205

平成28年度当初予算主要事業

(子育て・教育)

事業名	認定こども園一般型一時預かり事業補助金	
区 分	新 規	
事業の目的	認定こども園において、園児以外の幼児の一時預かりを実施し、安心して子育てができる環境の整備と保育所待機児童の解消を推進します。	
事業概要	<p>園児以外の幼児の一時預かりを実施する認定こども園に対し、利用児童数に応じた補助金を交付し、安心して子育てができる環境の整備と保育所待機児童の解消を推進します。</p> <p>【対象児童】園児以外の幼児 30人程度（主に2歳児） 【補助基準額】年間延べ利用児童数に応じた金額 300人未満 1,473千円 300人以上900人未満 1,580千円 【負担割合】国1/3、県1/3、市1/3 【補助対象園】市内認定こども園3園 【実施基準】保育所に準じた設備基準、保育の内容及び職員の配置</p> <p style="text-align: center;">＜事務の流れ＞</p> <div style="text-align: center;"> </div>	
平成28年度 当初予算額	4,740千円	
担当課	部・課・係名	こども未来部 こども育成課 こども政策係
	担 当 課 長	こども育成課長 渡辺 賢子
	電 話	046-225-2262

平成28年度当初予算主要事業

(子育て・教育)

事業名	スクールアシスタント派遣事業	
区 分	新 規	
事業の目的	<p>「教育環境日本一」を目指す本市として、子供たちにとって最大の教育環境は「先生」であると考え、教職員が児童・生徒一人一人と向き合う時間の確保が何よりも大切であると認識しています。</p> <p>学校や教職員に求められる役割が増加する中で、新たな教育課題に対応し、教科、児童・生徒指導など、教員としての本来の職務を着実に遂行するためには、教職員が自己研さんに励む時間を確保し、一人一人が持っている力を高め、発揮できる環境を整える必要があります。</p>	
事業概要	<p>教職員が子供たち一人一人と向き合うため、小・中学校に学校業務を支援するスクールアシスタントを派遣し、教職員の負担軽減を図ります。</p> <p>【予定業務内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議運営補助 ・スポーツテストの判定補助 ・校地内の除草 ・樹木の剪定 ・花壇等の手入れ及び低木の簡単な手入れ ・軽微な修繕 ・その他教育活動運営に関する業務 <p>【実施日数等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立全小・中学校（全36校対象） ・年間180日の業務日数のうち、各学校に年間10日ほど派遣する。 	
平成28年度 当初予算額	4, 200千円	
担当課	部・課・係名	教育総務部 教育総務課 教育総務係
	担 当 課 長	教育総務課長 霜島 正巳
	電 話	046-225-2600


平成28年度当初予算主要事業

(子育て・教育)

事業名	放課後児童クラブ運営事業	
区 分	拡 充	
事業の目的	保護者の就労等により、放課後に帰宅しても、適切な保育が受けられない児童を対象に、小学校の一時的余裕教室等を活用し、適切な遊びと生活の場を提供し、健全な育成を図るため、放課後児童クラブを運営します。	
事業概要	<p>厚木市立放課後児童クラブ条例を制定し、平成28年度からは、受益者負担の観点から育成料を徴収するほか、保護者が更に安心して児童を預けられるよう開所時間を延長するとともに、対象学年は、小学校6年生までに拡大し、子育て環境の充実を図ります。</p> <p>1 場所 市内23小学校の一時的余裕教室等</p> <p>2 対象学年 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">小学校1年生から3年生まで</div> ↓ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">小学校1年生から6年生まで</div> (学年拡大)</p> <p>3 開所時間 【月曜日～金曜日】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">授業終了後から18時30分まで</div> ↓ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">授業終了後から19時まで</div> (30分拡大) 【土曜日、夏休み等】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">8時30分から18時30分まで</div> ↓ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">7時30分から19時まで</div> (1時間30分拡大)</p> <p>4 待機児童解消に向けた取組 (1) 厚木児童クラブ・南毛利児童クラブ等の増設による定員数増 (2) 放課後児童支援員等の処遇改善及び人員増</p> <p>5 新たな取組 夏休み期間において、他校からの児童を受け入れるクラブを設置する。</p>	
平成28年度 当初予算額	315,486千円	
担当課	部・課・係名	こども未来部 こども育成課 こどもふれあい係
	担 当 課 長	こども育成課長 渡辺 賢子
	電 話	046-225-2582

平成28年度当初予算主要事業

(子育て・教育)

事業名	公園施設安心安全対策事業
区分	継続
事業の目的	誰もが安全で安心して利用できる施設環境の整備を図るため、公園施設長寿命化計画に基づき国の支援事業である「公園施設長寿命化対策支援事業」を活用し公園施設の更新を計画的に行います。
事業概要	<p>年間約 14 万人の方が利用されている厚木中央公園大型複合遊具は、平成 6 年に設置し既に 20 年が経過し、厚木市公園施設長寿命化計画に基づいて更新を実施することで、公園利用者が安全で安心して施設を利用できるように更新いたします。</p> <p>遊具の更新に伴い遊具配置を、幼児遊具、児童遊具、健康遊具に区分し、子供から高齢者までが一緒に楽しく遊べる遊具に更新をします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">ミニ滑り台・ミニネット クライム等の幼児遊具</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">迷路のような立体複合遊具・ ロング滑り台等の児童遊具</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;">①幼児遊具</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;">②児童遊具</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;">高齢者でも利用でき日々の 運動不足解消の健康遊具</div> </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center; margin-left: auto;">③健康遊具</div> <p style="margin-top: 10px;">地面はゴムチップ舗装で、落下・転倒時の安全性を高めております。</p>
平成28年度 当初予算額	98,000千円
担当課	部・課・係名 河川みどり部 公園緑地課 維持管理係
	担当課長 公園緑地課長 福岡 正明
	電 話 046-225-2410

平成 28 年度当初予算主要事業

(子育て・教育)

事業名	小学校教室冷暖房設備設置事業	
区 分	継 続	
事業の目的	<p>小学校の普通教室に冷暖房設備を設置することにより、快適な学習環境の整備を図ります。</p>	
事業概要	<p>夏季の猛暑の状況などを考慮して、児童の健康面への配慮とともに快適な学習環境の確保を図るため、全小学校の普通教室に冷暖房設備を設置します（平成 28 年度までに全小学校に整備）。</p> <p>最終となる平成 28 年度は、小学校 9 校（荻野小、小鮎小、厚木第二小、緑ヶ丘小、妻田小、鳶尾小、上荻野小、依知小、上依知小）に冷暖房設備を設置します。</p> <p>1 事業期間 平成 26 年度～平成 28 年度 2 事業対象 小学校 23 校 3 整備計画 平成 26 年度 6 校 平成 27 年度 8 校 平成 28 年度 9 校</p> <div style="text-align: right; background-color: black; color: white; padding: 5px; font-weight: bold; margin-top: 10px;"> 小・中学校 普通教室 冷暖房設備 100%完備 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	
平成 28 年度 当初予算額	405,641 千円	
担当課	部・課・係名	教育総務部 学校施設課 学校施設係
	担 当 課 長	学校施設課長 直井 孝夫
	電 話	046-225-2601

平成28年度当初予算主要事業


(中心市街地・交通対策)

事業名	本厚木駅南口地区市街地再開発事業	
区 分	拡 充	
事業の目的	<p>本厚木駅南口地区において、交通結節点の機能強化を図るとともに、商業・業務・居住などの複合的な都市機能の整備を促進し、魅力ある駅周辺の顔づくりを目指します。</p>	
事業概要	<p>【事業概要】 第一種市街地再開発事業の実施に伴い、関係機関との協議を進めるとともに、工事着工に向け、施行者である市街地再開発組合に対し、必要な支援を行います。 また、駅前広場拡充整備など公共施設整備に係る負担金を支出します。</p> <p style="text-align: right;">平成30年度 完成予定</p> <p>【計画概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施 行 者 市街地再開発組合 ・ 所 在 地 厚木市旭町一丁目、泉町 ・ 面 積 約0.8ha ・ 整備内容 <p>① 再開発ビル 構 造 等：RC造、地下2階地上22階建て 延床面積：約23,200㎡・高さ 約85m 主な用途：店舗、事務所、住宅(約150戸) 駐車場(約100台) 市営駐輪場(約600台)等</p> <p>② 駅前広場 現況約3,460㎡を約4,270㎡に拡充整備 バスバース、タクシー及び身障者乗降場、 一般車乗降場を設置</p> <p>【平成28年度の主な組合事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 権利変換計画認可（県知事） ・ 除却整地に伴う用地、建物等の補償 ・ 既存建築物の除却、整地 	
平成28年度 当初予算額	1,650,718千円	
担当課	部・課・係名	市街地整備部 本厚木駅南口再開発事務所
	担 当 課 長	本厚木駅南口再開発事務所長 沼田 芳基
	電 話	046-225-2859



平成28年度当初予算主要事業

(中心市街地・交通対策)

事業名	中町第2-2地区周辺整備関連事業 (中町第2-2地区周辺整備事業)	
区分	拡充	
事業の目的	交通結節点としての機能向上を図るとともに、文化芸術・商業・福祉・産業連携など都市機能の集約による利便性の高い地域として、再開発事業等により魅力と賑わいあふれる拠点都市を目指します。	
事業概要	<p>新たな集客の核となる複合施設の整備に向け、基本方針のコンセプトとして第3の居場所づくり「サードプレイス」を目指し、導入機能を検討し、複合施設の基本計画案を作成します。また、整備方針に基づき、交通結節点としての機能向上を図るため、バスセンターを含めた周辺道路の概略設計を行います。</p> 	
平成28年度 当初予算額	51,789千円	
担当課	部・課・係名	市街地整備部 中心市街地整備課 中心市街地整備係
	担当課長	中心市街地整備課長 前場 清
	電話	046-225-2470

平成 28 年度当初予算主要事業

(中心市街地・交通対策)

事業名	中町第 2 - 2 地区周辺整備関連事業 ((仮称) こども未来館整備事業)	
区 分	新 規	
事業の目的	(仮称) こども未来館については、現在の子ども科学館のプラネタリウム機能等に加え、未来ある本市の子どもたちが、広く科学分野について学び、考え、体験できるような施設整備に向けて基本構想を策定いたします。	
事業概要	<p>基本構想には、基本理念を始め、施設概要(規模、運営の方法・形態、事業計画とその内容、フロアー構成等)を示す予定です。</p> <p>整備に当たっては、中心市街地の中町第 2 - 2 地区周辺整備事業区域内に予定されている複合施設内に設置します。</p> <p>また、ロボット産業特区の利点を活かし、工学系分野を取り扱っている大学や研究機関等との連携も検討を進めていきます。</p>	
平成 28 年度 当初予算額	5, 3 6 2 千円	
担当課	部・課・係名	こども未来部 青少年課 施設係
	担 当 課 長	青少年課長 花家 勝
	電 話	0 4 6 - 2 2 5 - 2 5 7 9

平成 2 8 年度当初予算主要事業

(中心市街地・交通対策)

事業名	中町第 2 - 2 地区周辺整備関連事業 (図書館整備事業)	
区 分	新 規	
事業の目的	社会状況の変化に伴い、市民ニーズも多様化・高度化していることから、新たなサービスや機能を取り入れ、未来を見据えた図書館を整備します。	
事業概要	<p>社会状況の変化等により新たに求められている図書館の役割を明確にして、その役割を果たすための機能について検討を進め、未来を見据えた図書館基本構想を策定します。</p> <p>特に、中央図書館は中町第 2 - 2 地区周辺整備事業の中で新たな整備が計画されていることから、基本構想で定められた役割を果たし、市民ニーズに対応する新たな機能や設備を備えたものにします。</p>	
平成 2 8 年度 当初予算額	5, 0 0 0 千円	
担当課	部・課・係名	社会教育部 中央図書館 図書館係
	担 当 課 長	中央図書館長 市川 秀夫
	電 話	0 4 6 - 2 2 3 - 0 0 3 3

平成 28 年度当初予算主要事業

(中心市街地・交通対策)

事業名	中町第 2 - 2 地区周辺整備関連事業 (保健センター解体事業 (継続費))																		
区 分	新 規																		
事業の目的	「中心市街地の公共施設再配置計画」に基づき、保健センターを解体します。																		
事業概要	<p>昭和 57 年に建設され、築 30 年以上経過した保健センターは、老朽化が進み、維持管理費、維持補修費の負担が増大している等から、「中心市街地の公共施設再配置計画」に基づき、解体設計を行います。</p> <p>【保健センター】延べ床面積 A ≒ 3, 112 m²</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">款</th> <th style="width: 10%;">項</th> <th style="width: 20%;">事業名</th> <th style="width: 10%;">総額 (千円)</th> <th style="width: 10%;">年度</th> <th style="width: 10%;">年割額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">40 土木 費</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">20 都市 計画費</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">保健センタ ー解体事業</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">139,000</td> <td style="text-align: center;">H28 年度</td> <td style="text-align: center;">9,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H29 年度</td> <td style="text-align: center;">130,000</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>					款	項	事業名	総額 (千円)	年度	年割額 (千円)	40 土木 費	20 都市 計画費	保健センタ ー解体事業	139,000	H28 年度	9,000	H29 年度	130,000
款	項	事業名	総額 (千円)	年度	年割額 (千円)														
40 土木 費	20 都市 計画費	保健センタ ー解体事業	139,000	H28 年度	9,000														
				H29 年度	130,000														
平成 28 年度 当初予算額	9, 000 千円																		
担当課	部・課・係名	市街地整備部 中心市街地整備課 中心市街地整備係																	
	担 当 課 長	中心市街地整備課長 前場 清																	
	電 話	046-225-2470																	

平成 2 8 年度当初予算主要事業

(中心市街地・交通対策)

事業名	中町第 2 - 2 地区周辺整備関連事業 (中町第 2 - 2 地区周辺整備用地取得事業) (公共用地取得事業特別会計)	
区 分	新 規	
事業の目的	都市機能の集約による利便性の高い地域を目指し、中町第 2 - 2 地区周辺整備事業の進ちよくを図るため、用地取得を行います。	
事業概要	中町第 2 - 2 地区周辺整備事業区域内にある市道 A - 4 号線は複合施設建設用地内にあるため、道路の付替えが必要となり、代替え用地の取得及び支障物件の移転補償を行います。 用地取得 A ≒ 4 3 5 m ² 移転補償 N = 2 . 0 棟	
平成 2 8 年度 当初予算額	1 5 0 , 0 0 0 千円	
担当課	部・課・係名	市街地整備部 中心市街地整備課 中心市街地整備係
	担 当 課 長	中心市街地整備課長 前場 清
	電 話	0 4 6 - 2 2 5 - 2 4 7 0

平成 28 年度当初予算主要事業

(中心市街地・交通対策)

事業名	スマートインターチェンジ整備事業		
区 分	拡 充 / 新 規		
事業の目的	<p>圏央道の有効活用や物流の効率化による地域経済の活性化を図るため、厚木パーキングエリアにスマートインターチェンジを整備します。</p>		
事業概要	<p>(仮称)厚木パーキングエリアスマートインターチェンジは、一般国道 468 号(首都圏中央連絡自動車道)に厚木パーキングエリアを經由して直接出入りできるインターチェンジを整備するものです。</p> <p>中日本高速道路(株)とは平成 26 年度に「一般国道 468 号(首都圏中央連絡自動車道)(仮称)厚木 P A スマートインターチェンジに関する基本協定」、「設計等に関する細目協定」を締結し、平成 27 年度には「用地取得等に関する細目協定」を締結しました。</p> <p>平成 28 年度については、平成 30 年度末までの供用開始に向けて、中日本高速道路(株)との協定に基づき、測量、設計及び用地買収を実施いたします。</p> <div style="text-align: right; background-color: black; color: white; padding: 5px; font-weight: bold;">平成 30 年度 完成予定</div>  <p style="text-align: center;">圏央道厚木 P A</p>		
平成 28 年度 当初予算額	(整備) 31,564 千円	(用地) 244,214 千円	
担当課	部・課・係名	道路部 道路整備課 幹線道路・スマートインター整備係	道路部 道路用地課 幹線用地係
	担 当 課 長	幹線市道担当課長 大森 裕一	道路用地課長 吉岡 廣幸
	電 話	046-225-2318	046-225-2344

平成 2 8 年度当初予算主要事業

(中心市街地・交通対策)

事業名	街路整備関連事業 (街路用地取得事業)	
区 分	拡 充	
事業の目的	<p>主要幹線道路である都市計画道路の早期整備を目指し、安全で快適な生活環境の確保や交通渋滞の解消、経済の活性化等の大きな目標を達成するため、街路用地の取得を行います。</p>	
事業概要	<p>都市計画道路である本厚木下津古久線及び厚木環状3号線の事業に必要な道路用地の取得及び支障物件の移転補償を行います。</p> <p>本厚木下津古久線では、新東名高速道路(仮称)厚木南ICへのアクセス機能を高め、国道129号のバイパス機能を有し、渋滞緩和を図るとともに南部産業拠点地区への企業誘致にもつながる、地域経済への活性化を支援します。</p> <p>厚木環状3号線は、森の里東土地区画整理事業の施行地区への主要なアクセス道路として、産業系の土地利用を促進するため、関連企業等の誘致活動を支援し地域経済の発展を推進します。</p>	
平成28年度 当初予算額	870,429千円	
担当課	部・課・係名	道路部 道路用地課 幹線用地係
	担 当 課 長	道路用地課長 吉岡 廣幸
	電 話	046-225-2344

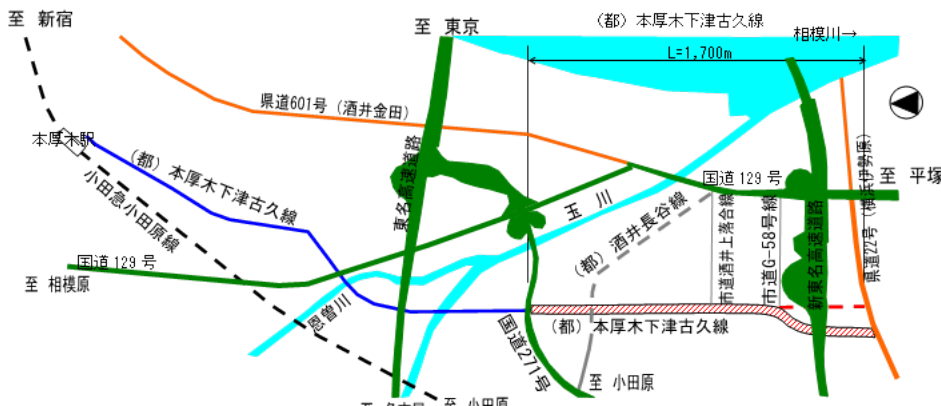
平成28年度当初予算主要事業

(中心市街地・交通対策)

事業名	街路整備関連事業 (厚木環状3号線街路整備事業)
区分	拡充
事業の目的	安全で快適な市民生活を確保するとともに、体系的な交通ネットワーク構築のため都市計画道路の整備促進を図ります。
事業概要	<p>厚木環状3号線は、都市計画道路としての交通ネットワーク構築とともに、森の里東土地区画整理事業施行地区への主要アクセス道路として、工業系の土地利用を促進するため、関連企業等の誘致活動を支援し地域経済の発展を推進します。</p> <p>平成28年度につきましては、県道63号(相模原・大磯)宮地交差点から市道篠谷上古沢線までの1,700mの区間、事業実施に向けての設計委託及び一部造成工事を実施します。</p> <div data-bbox="1161 969 1410 1077" style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 平成32年度 完成予定 </div> 
平成28年度 当初予算額	205,900千円
担当課	部・課・係名 道路部 道路整備課 幹線道路・スマートインター整備係
	担当課長 幹線市道担当課長 大森 裕一
	電 話 046-225-2318

平成28年度当初予算主要事業

(中心市街地・交通対策)

事業名	街路整備関連事業 (本厚木下津古久線街路整備事業)	
区 分	継 続	
事業の目的	安全で快適な市民生活を確保するとともに、体系的な交通ネットワーク構築のため都市計画道路の整備促進を図ります。	
事業概要	<p>本厚木下津古久線は、新東名高速道路（仮称）厚木南 I C へのアクセス機能や西部地域との環状系ネットワーク化を高めると共に、南部産業拠点地区への企業誘致にもつながる、地域経済への活性化を支援します。</p> <p>平成28年度につきましては、国道271号から県道22号（横浜・伊勢原）までの1,700mの区間、事業実施に向けての設計委託を実施します。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">平成32年度 完成予定</div> </div> 	
平成28年度 当初予算額	7,800千円	
担当課	部・課・係名	道路部 道路整備課 幹線道路・スマートインター整備係
	担当課長	幹線市道担当課長 大森 裕一
	電 話	046-225-2318

平成28年度当初予算主要事業

(中心市街地・交通対策)

事業名	赤坂竹ノ内線道路整備事業 赤坂竹ノ内線道路整備事業（継続費）	
区分	拡 充	
事業の目的	<p>県道603号上粕屋厚木と市道赤坂津古久環状線を連絡する新規路線であり、市道酒井長谷線、赤坂交差点への集中する交通の分散化を図り、交通渋滞を解消します。</p>	
事業概要	<p>酒井長谷線の赤坂交差点は、朝夕の時間帯には交通渋滞が発生し、市民生活に大きな影響が生じております。本事業は、赤坂交差点を回避する新たな道路整備により交通の分散化を図るため、県道603号上粕屋厚木と赤坂津古久環状線を連絡する新設道路として赤坂竹ノ内線を整備するものです。</p> <p>平成28年度につきましては、県道603号上粕屋厚木と赤坂津古久環状線までの区間、事業実施に向けての用地買収及び設計委託について実施いたします。また、工事につきましては、一級河川玉川に架かる橋りょう工事及び道路築造工事について実施いたします。</p> <div style="text-align: center;"> </div>	
平成28年度 当初予算額	50,900千円 / 245,860千円（継続費）	
担当課	部・課・係名	道路部 道路整備課 幹線道路・スマートインター整備係
	担当課長	幹線市道担当課長 大森 裕一
	電 話	046-225-2318

平成28年度当初予算主要事業

(経済活性化・企業誘致・雇用創出)

事業名	森の里東土地区画整理関連事業	
区 分	継 続	
事業の目的	<p>森の里東土地区画整理事業の施行を促進するため、施行者である森の里東土地区画整理組合に対する指導、助言及び支援に努めるとともに施行地区周辺の必要な都市基盤整備を市で施行し、当地区の計画的かつ充実した都市基盤を形成します。</p>	
事業概要	<p>森の里東土地区画整理事業は、平成27年1月の工事着手から1年が経過し、A地区の工事進捗率は約40%に達し、ほぼ計画通り進捗しています。引き続き、自然環境に配慮しながら段階的に工事を進め、A地区については、平成29年度の工事完成及び立地企業の操業を予定しています。</p> <p>また、市では施行地区周辺の都市基盤整備（道路等）を事業の進捗状況に合わせて進めていきます。</p> <p>【平成28年度主な予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市補助金の交付及び公共施設管理者負担金の支出（継続） ・関連道路整備の実施（拡充） <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> A地区 平成29年度 工事完了 立地企業操業 </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p style="text-align: center;">(施行地区面積 約68ha)</p> </div>	
平成28年度 当初予算額	702,706千円	
担当課	部・課・係名	市街地整備部 森の里東拠点整備事務所
	担 当 課 長	森の里東拠点整備事務所長 鈴木 登
	電 話	046-225-2856


平成 28 年度当初予算主要事業

(経済活性化・企業誘致・雇用創出)

事業名	ロボット産業関連事業	
区 分	新 規	
事業の目的	<p>ロボットの实用化を通じた地域経済の活性化に係る計画を策定し、新たなロボット産業の振興と集積を図るとともに、本市独自のイベントや展示会等を開催することにより、多くの市民等の皆様にロボットに対する親近感を持っていただくことで、ロボットの普及の促進を図ります。</p>	
事業概要	<p>(仮称) ロボット産業推進計画策定事業・・・5,000 千円 現代社会における課題解決とロボットによる新たな産業革命を促進するため、ロボットの实用化を通じた地域経済の活性化に係る計画を策定します。</p> <p>ロボット普及促進事業・・・・・・・・・・2,000 千円 厚木市ロボット産業推進協議会のメンバーを中心に、市内ロボット関連企業等の協力を得ながら、次の事業を実施します。 ◎夏休みロボット体験会の開催 ◎生活支援ロボットの体験展示会の開催 ◎ロボットリテラシー普及促進事業 ◎厚木市ロボット関連企業把握事業</p> <p>ロボット産業推進事業補助金・・・・・・・・・・2,000 千円 (継続) ロボット分野の製品開発に係る費用 (調査研究費用、実証実験費用、原材料費用、設計費用、加工製造費用等) の一部を補助する制度を、平成 25 年度から他市に先駆けて創設しております。 ◎補助対象者 市内に事業所を置く企業等による共同事業体 ◎補助金額 補助対象経費の 2 分の 1 以内 (限度額 100 万円)</p>	
平成 28 年度 当初予算額	9,000 千円	
担当課	部・課・係名	産業振興部 産業振興課 企業誘致係
	担 当 課 長	企業誘致担当課長 成井 美樹男
	電 話	046-225-2816

平成28年度当初予算主要事業

(経済活性化・企業誘致・雇用創出)

事業名	土地区画整理推進事業	
区 分	継 続	
事業の目的	<p>計画的かつ充実した都市基盤整備を形成するため、山際地区及び南部産業拠点（酒井地区）を対象に、土地区画整理の事業化を目指し、権利者組織に必要な支援を行います。</p>	
事業概要	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>■山際地区（約39ha） 土地区画整理組合設立準備委員会等の地元権利者組織により、組合設立認可を目標に、土地利用計画や事業の採算性などの調査、検討を進めております。 今後、更なる権利者の合意形成及び関係機関との調整を進めます。</p> <p>【平成28年度の予定】 ・まちづくり支援業務などの各種調査を実施します。</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  <p>平成30年度 組合設立予定</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 60%;"> <p>■南部産業拠点（酒井地区）（約27ha） 土地区画整理組合設立準備委員会により、組合設立認可を目標に、事業化に向けた土地利用計画などの調査、検討を進めております。 今後、更なる権利者の合意形成及び関係機関との調整を進めます。</p> <p>【平成28年度の予定】 ・事業計画書（案）の作成などの各種調査を実施します。</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  <p>平成30年度 組合設立予定</p> </div> </div>	
平成28年度 当初予算額	64,575千円	
担当課	部・課・係名	市街地整備部 まちづくり推進課 まちづくり推進係
	担 当 課 長	まちづくり推進課長 政木 諭志
	電 話	046-225-2837

平成 28 年度当初予算主要事業

(経済活性化・企業誘致・雇用創出)

事業名	将来を見据えた様々なプラン策定 (産業マスタープラン改定事業)	
区 分	新 規	
事業の目的	<p>地域経済の活性化を図るための指針である「厚木市産業マスタープラン」について、第9次厚木市総合計画第2期基本計画等とのマッチングを図り、近未来を見据え、ニーズを反映した計画として改定します。</p>	
事業概要	<p>地域経済の活性化を図るための指針である「厚木市産業マスタープラン」は、第9次厚木市総合計画「あつぎ元気プラン」を補完する個別計画として、平成24年3月に策定したものです。</p> <p>「あつぎ元気プラン」第2期基本計画がスタートしたこと、及び策定から3年以上が経過する中、経済状況の変化（アベノミクスの変化・新たな3本の矢、一億総活躍社会、円安による景気の回復基調等）や法令等の整備（「産業競争力強化法」、「小規模企業振興基本法」及び「商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律の一部を改正する法律」等）による市としての対応も見直す必要があること、さらには、圏央道の本格的な開通や森の里東土地区画整理事業による造成が着手されたことから、商業や観光の方向性などとの整合性、及び庁内各部署の施策とのマッチングを図り、本市産業振興施策の柱となる計画として、改定します。</p>	
平成28年度 当初予算額	6,000千円	
担当課	部・課・係名	産業振興部 産業振興課 産業振興係
	担 当 課 長	産業振興課長 藤川 宏
	電 話	046-225-2836

平成 28 年度当初予算主要事業

(経済活性化・企業誘致・雇用創出)

事業名	将来を見据えた様々なプラン策定 ((仮称) 商業まちづくり計画策定事業)		
区 分	新 規		
事業の目的	中心市街地及び周辺部の商業活性化を図るため、(仮称) 商業まちづくり計画を策定します。		
事業概要	<p>周辺都市における大型商業施設の整備等により、厚木市の年間小売販売額や商圈人口は減少しており、厚木市の商業に様々な課題を招いています。</p> <p>また、ライフスタイルの変化による消費者ニーズの多様化、インターネットの急速な浸透など商業を取り巻く環境は著しく変化しています。</p> <p>このような課題を解決することや環境の変化に対応することについて、計画的かつ体系的な事業計画に基づき、中長期的に施策を展開することで、厚木市の商業活性化を図る必要があることから、中心市街地及び周辺部の商業活性化を図るための考え方や方向性である「商業ビジョン」や、実行計画である「商業振興プラン」を、「(仮称) 商業まちづくり計画」として策定します。</p> <p>また、施策に対する評価を定期的実施することにより、将来の厚木市の商業施策を推進します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>(仮称) 商業まちづくり計画</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%; text-align: center;"> <p>商業ビジョン 商業活性化を図るための 考え方や方向性を規定</p> </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%; text-align: center;"> <p>商業振興プラン 「商業ビジョン」を具体的に 実行するための実行計画</p> </td> </tr> </table> </div>	<p>商業ビジョン 商業活性化を図るための 考え方や方向性を規定</p>	<p>商業振興プラン 「商業ビジョン」を具体的に 実行するための実行計画</p>
<p>商業ビジョン 商業活性化を図るための 考え方や方向性を規定</p>	<p>商業振興プラン 「商業ビジョン」を具体的に 実行するための実行計画</p>		
平成 28 年度 当初予算額	5, 000 千円		
担当課	部・課・係名	産業振興部 商業にぎわい課 商業にぎわい係	
	担 当 課 長	商業にぎわい課長 吉澤 美喜男	
	電 話	046-225-2840	

平成 28 年度当初予算主要事業

(経済活性化・企業誘致・雇用創出)

事業名	将来を見据えた様々なプラン策定 (観光振興計画改定事業)	
区 分	新 規	
事業の目的	近年、観光を取り巻く環境は多様化しているため、観光ニーズに迅速かつ的確に対応し、他分野にわたる観光産業の連携の強化と継続的な観光振興を図ることを目的に、地域における具体的な振興策としてのアクションプラン「厚木市観光振興計画」を改定する。	
事業概要	<p>本市の持続的な観光振興を図るため、地域における具体的な振興策としてのアクションプラン「厚木市観光振興計画」を平成24年3月に策定しておりますが、観光を取り巻く環境は、近年、外国人観光客誘致や滞在型観光の推進など、多様化しており、厚木市においてもこのような観光ニーズに迅速かつ的確に対応することが求められている。</p> <p>わかりやく透明度の高い計画にするため、市民等の意見・意向を積極的に取り入れるとともに、厚木市観光振興推進委員会等での協議・検討を加えながら、より実効性の高い計画に改定する。</p>	
平成28年度 当初予算額	5,000千円	
担当課	部・課・係名	産業振興部 観光振興課 観光振興係
	担 当 課 長	観光振興課長 五味 茂雄
	電 話	046-225-2820

平成 28 年度当初予算主要事業

(経済活性化・企業誘致・雇用創出)

事業名	若者・女性等雇用拡大事業	
区 分	継 続	
事業の目的	<p>就職活動が未だかなわず、正規雇用を希望する若者や結婚・出産後に退職した女性等を対象として、正規雇用へ向けた研修の実施やマッチング等を支援することにより、安定した雇用環境の実現を目指します。</p>	
事業概要	<p>正規雇用を希望する若者やキャリアブランクのある女性等の就職活動を支援するため、求職者のスキルアップのための集合研修を行いながら、求人企業とのマッチングを図る交流会を開催し、その後のフォローアップにも対応しつつ、年間を通じたプログラムを実施します。</p> <p>① 求職者対象集合研修（1週間程度のものを3期予定） ② 求職者対象個別トレーニング（随時） ③ 企業、求職者マッチングイベント（各期2日程度） ④ 企業、求職者マッチング支援（個別相談・随時） ⑤ （必要に応じて）短期インターンシップ</p> <p>上記①～⑤を1期として年間3期実施します。 【実施予定時期】 1期：5月下旬 2期：8月中旬 3期：11月中旬</p> <p>集合研修終了後のアフターフォローとして、個別トレーニングや個別相談を年間通じて、随時行うことで一人一人に合わせたきめ細かな支援を実施し、就職決定率の向上、安定した雇用環境の実現を目指します。</p>	
平成28年度 当初予算額	20,000千円	
担当課	部・課・係名	産業振興部 産業振興課 産業振興係
	担 当 課 長	産業振興課長 藤川 宏
	電 話	046-225-2836

平成28年度当初予算主要事業

(自然環境・再生可能エネルギー)

事業名	農作物鳥獣害防護対策事業補助金	
区 分	新 規	
事業の目的	<p>野生鳥獣による農作物被害は農業者にとって死活問題であるため、個人防護柵（電気柵を含む）を設置することにより、ニホンザルなどの被害を格段に軽減します。</p>	
事業概要	<p>市内で農作物を生産している個人又は団体に、防護電気柵、防護柵又は防護網の設置を補助します。</p> <p>【補助率等の予定】 補助額は、防護柵機材費に係る費用の2/3（上限10万円以内）とします。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	
平成28年度 当初予算額	800千円	
担当課	部・課・係名	環境農政部 農業政策課 森林鳥獣対策係
	担 当 課 長	農林・鳥獣担当課長 一柳 正一
	電 話	046-225-2810

平成28年度当初予算主要事業

(自然環境・再生可能エネルギー)

事業名	有害鳥獣防除団体育成交付金	
区 分	新 規	
事業の目的	<p>高齢化している狩猟者の団体育成と若い世代の加入を促進し、有害鳥獣防除対策の充実を図ります。</p>	
事業概要	<p>神奈川県猟友会厚木支部及び小鮎地区わな設置協議会の2団体は、大変険しい山中に入り込み、銃器やくくりわな等によりニホンジカやイノシシなどの有害鳥獣を駆除しています。狩猟作業は過酷であり、捕獲した重量のある有害鳥獣を人里まで運搬する作業は非常に体力を消耗します。両団体とも高齢化が進み、日常の狩猟活動に弊害が発生している状況を改善するとともに、団体の組織育成強化及び若い世代の新規加入を促進するため、交付金として交付するものです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>	
平成28年度 当初予算額	200千円	
担当課	部・課・係名	環境農政部 農業政策課 森林鳥獣対策係
	担当課長	農林・鳥獣担当課長 一柳 正一
	電 話	046-225-2810


平成 28 年度当初予算主要事業

(自然環境・再生可能エネルギー)

事業名	再生可能エネルギー導入促進事業																								
区 分	拡 充																								
事業の目的	<p>市域に太陽光発電を始めとする再生可能エネルギーの導入を促進し、エネルギーの地産地消と有効利用を推進し、21世紀型の持続可能な都市の構築を目指します。</p>																								
事業概要	<p>本市における温室効果ガス排出抑制のための行動計画である「厚木市地球温暖化対策実行計画」を踏まえ、本市の特性を生かした再生可能エネルギーの具体的な導入計画について定めた「あつぎ元気地域エネルギー構想実行計画」に基づき、災害時に防災拠点となる公共施設に太陽光発電及び蓄電池システムを設置します。</p> <p>なお、設置につきまして、昨年より1校から2校へ増やします。</p> <p>《平成 28 年度事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置場所 鳶尾小学校、玉川小学校 ・ 設置規模 各太陽光発電システム 15kW、蓄電池システム 15kW <p>《学校におけるこれまでの設置箇所（予定含む）》</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">平成 25 年度</td> <td style="width: 35%;">・ 南毛利中学校</td> <td style="width: 30%;">太陽光発電システム</td> <td style="width: 20%;">約 38kW</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 飯山中学校</td> <td>太陽光発電システム</td> <td>約 85kW</td> </tr> <tr> <td>平成 26 年度</td> <td>・ 緑ヶ丘小学校</td> <td>太陽光発電システム</td> <td>約 15kW</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>蓄電池システム</td> <td>約 30kW</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年度</td> <td>・ 藤塚中学校</td> <td>太陽光発電システム</td> <td>約 16kW</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>蓄電池システム</td> <td>約 16kW</td> </tr> </table>	平成 25 年度	・ 南毛利中学校	太陽光発電システム	約 38kW		・ 飯山中学校	太陽光発電システム	約 85kW	平成 26 年度	・ 緑ヶ丘小学校	太陽光発電システム	約 15kW			蓄電池システム	約 30kW	平成 27 年度	・ 藤塚中学校	太陽光発電システム	約 16kW			蓄電池システム	約 16kW
平成 25 年度	・ 南毛利中学校	太陽光発電システム	約 38kW																						
	・ 飯山中学校	太陽光発電システム	約 85kW																						
平成 26 年度	・ 緑ヶ丘小学校	太陽光発電システム	約 15kW																						
		蓄電池システム	約 30kW																						
平成 27 年度	・ 藤塚中学校	太陽光発電システム	約 16kW																						
		蓄電池システム	約 16kW																						
平成 28 年度 当初予算額	54,800千円																								
担当課	部・課・係名	環境農政部 環境政策課 エネルギー政策係																							
	担 当 課 長	環境政策課長 森住 幹生																							
	電 話	046-225-2746																							

平成 2 8 年度当初予算主要事業

(自然環境・再生可能エネルギー)

事業名	事業系ごみ内容物適正化推進事業	
区 分	拡 充	
事業の目的	循環型社会を形成するため、環境センターに搬入される事業系一般廃棄物の適正排出を確保し、ごみの減量化・資源化を推進します。	
事業概要	<p>環境センターへ搬入される事業系一般廃棄物について、搬入時に内容物検査を行い、その結果に基づき、排出事業者への戸別訪問指導・助言を実施してきましたが、更なる循環型社会の形成推進、環境負荷の低減のため、平成 27 年度 4 カ月間試行してきた検査を本年実施し、事業系ごみの減量化・資源化を推進します。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	
平成 2 8 年度 当初予算額	1 2 , 4 3 9 千円	
担当課	部・課・係名	環境農政部 環境事業課 資源循環係
	担 当 課 長	環境事業課長 片桐 亮
	電 話	0 4 6 - 2 2 5 - 2 7 9 3

平成 28 年度当初予算主要事業

(スポーツ・文化)

事業名	市民体力向上推進事業	
区 分	新 規	
事業の目的	<p>幼児から高齢者の幅広い世代に対し体力向上や健康増進を図る事業に対し、講師の派遣等を行いスポーツへの関心を高めスポーツ人口の拡大を図ります。</p>	
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 アスリート講師の活用 体力向上や健康増進を促進するため、各種団体の研修会等へ講師を派遣します。 オリンピック選手等とスポーツ体験や運動体験会を実施します。 2 トップアスリートスポーツ体験（対象 小学生及び中学生） オリンピックメダリスト等トップアスリートからの講話、大学教授等から講義・実技指導、大学生とのスポーツ交流を行います。 日本体育大学及び近代的なスポーツ施設の視察及び研修等を実施します。 3 日本体育大学スポーツ研修 日本体育大学の施設等を利用し、地域のスポーツリーダー（スポーツ推進委員や地区体育振興会委員など）を対象とした研修会等を実施します。 日本体育大学が主催する公開講座等へ参加します。 	
平成 28 年度 当初予算額	3, 000 千円	
担当課	部・課・係名	社会教育部 スポーツ政策課 スポーツ政策係
	担 当 課 長	スポーツ政策課長 古村 耕介
	電 話	046-225-2531

平成 28 年度当初予算主要事業

(スポーツ・文化)

事業名	あつぎスポーツアカデミー推進事業補助金	
区 分	拡 充	
事業の目的	東京オリンピック・パラリンピックの開催を一層のスポーツ振興を図る契機として捉え、スポーツ人口の拡大を図るとともに、国際大会や全国大会に出場できる選手を輩出するため、アスリートの育成や指導者の養成などに取組みます。	
事業概要	<p>(公財)厚木市体育協会に、スポーツ愛好者の拡大及び競技力の向上を図るため、その事業費を補助します。</p> <p>【あつぎスポーツアカデミー推進事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツ教室開催事業 (対象：子ども～高齢者) 市民のスポーツ活動を推進し、スポーツ人口の底辺の拡大を図るため、各種スポーツ教室を開催します。 2 各種スポーツ大会の開催 競技力の向上及び参加選手の相互交流を図るため、各種スポーツ大会を開催します。 3 指導者養成事業 指導者として必要とされる知識や技術の習得を図るため、スポーツ指導者セミナー、スポーツ医科学セミナー等を開催します。 4 あつぎアカデミー事業 (対象：幼児～中学生) 未来のトップアスリートをめざし、早い段階から運動能力を刺激する取組みや年齢、競技レベルなどに応じた取組みを行います。 (ジュニアの育成、指導者の養成等) 5 その他事業 広報情報事業、スポーツ交流事業、助成事業などを行います。 <p>(拡充内容) あつぎスポーツアカデミー事業ジュニア育成部分の更なる充実を図ります。</p>	
平成 28 年度 当初予算額	17,632千円	
担当課	部・課・係名	社会教育部 スポーツ政策課 スポーツ政策係
	担 当 課 長	スポーツ政策課長 古村 耕介
	電 話	046-225-2531

平成28年度当初予算主要事業

(スポーツ・文化)

事業名	オリンピック・パラリンピック支援推進事業	
区分	拡充	
事業の目的	<p>様々な可能性を持つオリンピック・パラリンピックの開催を契機に、厚木市のスポーツ文化の振興、国際交流の推進、観光振興及びバリアフリーのまちづくりなど、将来のあつぎにつなげるレガシー（遺産）の創出に取り組むとともに、次代を担う子どもたちの夢と希望を育むことを目的とします。</p>	
事業概要	<p>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会及びラグビーワールドカップ2019日本大会の事前キャンプ誘致を始め、両大会の成功に向けた支援を行うとともに、次代を担う子どもたちの夢と希望を育むため、両大会開催を契機としたスポーツ文化の振興、国際交流の推進、観光振興などに取り組みます。</p> 	
平成28年度 当初予算額	8,000千円	
担当課	部・課・係名	政策部 企画政策課 企画政策係
	担当課長	企画政策課長 山口 雅也
	電話	046-225-2450

平成28年度当初予算主要事業

(スポーツ・文化)

事業名	公民館図書室オンライン・ネットワーク整備事業	
区分	新規	
事業の目的	中央図書館と公民館図書室をオンライン・ネットワークで結び、一体化したサービスを提供して読書環境の充実を図ります。	
事業概要	<p>中央図書館と南毛利公民館図書室をオンライン・ネットワークで結び、中央図書館と一体化したサービスを提供することにより、地域の拠点として利便性の向上と読書環境の充実を図ります。</p> <p>【開始時期】平成29年1月 【開室時間】午前10時～午後5時 【蔵書】約1万冊</p> <p>※オンライン・ネットワーク整備済み8公民館図書室 依知北・睦合北・睦合西・荻野・小鮎・玉川・森の里・相川</p>  <p>※イメージ写真</p> <p style="text-align: right;">平成29年1月 オープン</p>	
平成28年度 当初予算額	5,973千円	
担当課	部・課・係名	社会教育部 中央図書館 図書館係
	担当課長	中央図書館長 市川 秀夫
	電話	046-223-0033

平成28年度当初予算主要事業

(スポーツ・文化)

事業名	厚木南公民館新築整備関連事業	
区 分	拡 充	
事業の目的	<p>中心市街地の公共施設再配置計画に基づき、勤労福祉センター跡地に厚木南公民館を新築移転します。</p>	
事業概要	<p>●厚木南公民館新築事業費（継続） 中心市街地の公共施設再配置計画に基づき、厚木南公民館の新築移転に向け、新築工事を実施します。（平成28年度完成） 構 造 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 規 模 3階建て 敷地面積 1,624.87㎡ 延床面積 1,841.08㎡ 内訳：公 民 館 1,717.54㎡ 消防器具置場 123.54㎡</p> <p>●厚木南公民館新築整備事業費【新規】 厚木南公民館の新築移転に伴い、周辺道路の整備を実施します。</p> <p>●厚木南公民館解体工事費【新規】 新築移転に伴い、現公民館の解体設計委託を実施します。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>	
平成28年度 当初予算額	693,553千円	
担当課	部・課・係名	社会教育部 社会教育課 社会教育係
	担 当 課 長	社会教育課長 柳田 貴之
	電 話	046-225-2513

平成 28 年度当初予算主要事業

(その他の地方創生に向けた取組)

事業名	あつぎの魅力創造発信事業	
区 分	新 規	
事業の目的	「厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重点項目としている 20 歳代の定住促進と転出抑制を図り、「厚木市人口ビジョン」に掲げる将来の目標人口の実現を目指します。	
事業概要	<p>本市における年齢階級別の人口移動の傾向を見ると、25～29 歳の転出超過が突出して多くなっています。</p> <p>また、本市の将来の目標人口を検討する中で、全ての世代の人口移動率がゼロになるよりも、転出超過数が最も多い 20 歳代の人口移動率がゼロになる方が、人口減少の抑制には効果が大きくなる結果となりました。</p> <p>こうした状況を踏まえ、本市の人口動向に最も影響を与えている 20 歳代を中心とした若い世代の定住促進と市外への転出抑制を図るため、若い世代で構成する組織を新たに設置し、住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力ある事業を検討・実施するとともに、あらゆる世代から選ばれる都市を目指し、あつぎの魅力を全国に発信します。</p>	
平成 28 年度 当初予算額	10,000 千円	
担当課	部・課・係名	政策部 企画政策課 計画調整係
	担 当 課 長	企画政策課長 山口 雅也
	電 話	046-225-2455

平成27年度2月補正予算主要事業

(その他の地方創生に向けた取組)

事業名	出会いの場・交流の場創出事業（繰越明許）	
区分	新規	
事業の目的	「厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の達成指標としている合計特殊出生率を上昇させ、「厚木市人口ビジョン」に掲げる将来の目標人口の実現を目指します。	
事業概要	<p>本事業は、国の平成27年度補正予算「地域少子化対策重点推進交付金」を活用し、平成28年度事業を前倒しで実施します。</p> <p>本市の平成25年の合計特殊出生率は、全国平均より低く、神奈川県と同率の1.28となっており、出生数は平成19年をピークに減少傾向にあります。</p> <p>また、本市の希望出生率を算定するために行ったアンケート調査では、独身者のうち結婚を希望する人の割合は87.5%でした。</p> <p>こうした状況を踏まえ、合計特殊出生率の上昇を目指し、結婚を望む方々の希望をかなえるため、若い世代で構成する組織を新たに設置し、結婚への第一歩である新たな出会いの場や交流の場を創出するための事業を検討・実施します。</p>	
平成27年度 2月補正予算額	7,000千円（繰越明許）	
担当課	部・課・係名	政策部 企画政策課 計画調整係
	担当課長	企画政策課長 山口 雅也
	電話	046-225-2455

平成 27 年度 2 月補正予算主要事業

(その他の地方創生に向けた取組)

事業名	まちの魅力を高める都市農業推進事業 (地産地消対策事業補助金 (繰越明許))	
区 分	新 規	
事業の目的	耕作放棄地を縮減し、農地の保全を図るとともに、農業の維持・発展を推進します。	
事業概要	<p>本事業は、国の平成 27 年度補正予算「地方創生加速化交付金」を活用し、平成 28 年度事業を前倒しで実施します。</p> <p>耕作放棄地を再生利用する新たな担い手の農業の定着へ向け、戦略的推奨作物である小麦の生産に伴う販路を確立させるため、生産された小麦を加工して付加価値の高い特産品づくりを行い、小麦生産における収益の拡大と新たな加工食品の流通を促進するための製粉施設 (製粉機) を導入します。</p> <div style="text-align: center;">  <p>※試作品</p> </div>	
平成 27 年度 2 月補正予算額	12,500 千円 (繰越明許)	
担当課	部・課・係名	環境農政部 農業政策課 農業政策係
	担当課長	都市農業支援担当課長 尾形 正
	電 話	046-221-5511

平成 27 年度 2 月補正予算主要事業

(その他の地方創生に向けた取組)

事業名	まちなちの魅力を高める都市農業推進事業 (青年就農支援事業 (その 2) (繰越明許))	
区 分	継 続	
事業の目的	農業従事者の高齢化や後継者不足の課題に対し、都市農業の持続的な発展の実現へ向け、青年の新規就農者を積極的に誘致することを目的とします。	
事業概要	<p>本事業は、国の平成 27 年度補正予算「地方創生加速化交付金」を活用し、平成 28 年度事業を前倒しで実施します。</p> <p>農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、新規就農者の育成・確保は都市農業を持続的に発展させるために必要不可欠であり、青年の就農意欲の喚起と就農後の営農定着へ向け、国の青年就農給付金と併せて青年新規就農者へ 100 千円を給付します。</p>	
平成 27 年度 2 月補正予算額	500 千円 (繰越明許)	
担当課	部・課・係名	環境農政部 農業政策課 農業政策係
	担 当 課 長	都市農業支援担当課長 尾形 正
	電 話	046-221-5511

平成27年度2月補正予算主要事業

(その他の地方創生に向けた取組)

事業名	“つながる大山（おおやま）”プロジェクト (観光協会補助金（その2）（繰越明許）)	
区分	新規	
事業の目的	<p>本市観光の推進主体である厚木市観光協会に対し補助金を交付することで、観光関係団体の指導育成や観光地の情報発信強化など、観光産業の振興を図ります。</p> <p>また、観光協会の執行体制や財務基盤を強化することにより、自主事業強化による財源の確保（将来的な自立・市補助金の削減）や市直営事業の移管（柔軟な事業展開・市職員の削減）など、更なる効率化を進めます。</p>	
事業概要	<p>本事業は、国の平成27年度補正予算「地方創生加速化交付金」を活用し、地域間及び官民連携して行う厚木市観光協会事業の拡充を図ります。</p> <p>2020東京オリンピック・パラリンピックを契機に増大が見込まれる交流人口の誘客促進を図るため、観光協会が行うWi-Fi環境の整備や外国人向けホームページコンテンツの作成業務等の事業へ補助を行うことで、本市のインバウンド戦略を充足させ、観光協会の体制強化が期待できます。</p> <p>さらに、近隣市と連携して事業を進めることでエリアの魅力を高め、効果的な誘客が期待できます。</p>	
		
平成27年度 2月補正予算額	12,000千円（繰越明許）	
担当課	部・課・係名	産業振興部 観光振興課 観光振興係
	担当課長	観光振興課長 五味 茂雄
	電話	046-225-2820



平成27年度2月補正予算主要事業

(その他の地方創生に向けた取組)

事業名	“つながる大山（おおやま）”プロジェクト (広域連携観光推進事業（繰越明許）)	
区 分	新 規	
事業の目的	自治体間で連携した観光プロモーションを行うことで、既存観光資源の魅力を高め、情報発信力の強化により誘客促進を図ることを目的に実施します。	
事業概要	<p>本事業は、国の平成27年度補正予算「地方創生加速化交付金」を活用し、厚木市、伊勢原市、秦野市の広域連携事業として実施します。</p> <p>2020東京オリンピック・パラリンピックを契機に、今後、交流人口の増大が見込まれる時期において、より効果的に誘客促進を図る施策の実施が求められておりますが、近隣市と連携して事業をすることでエリアの魅力が高まり、情報発信力の強化による誘客促進が期待できます。</p> <div style="text-align: center;"> </div>	
平成27年度 2月補正予算額	5,000千円（繰越明許）	
担当課	部・課・係名	産業振興部 観光振興課 観光振興係
	担当課長	観光振興課長 五味 茂雄
	電 話	046-225-2820